

平成19年度 関東高等学校女子バスケットボール大会

平成19年6月9日(土)

【女子】1回戦 富士北麓公園体育館 Aコート 第1試合

県立幕張総合高等学校(千葉)	77	$\left. \begin{array}{l} 24 - 13 \\ 24 - 18 \\ 20 - 17 \\ 9 - 23 \end{array} \right\} 71$	文化女子大学附属杉並(東京)
----------------	----	---	----------------

県立幕張総合高等学校(千葉) コーチ 秋田 千晴

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4	柴崎 友里奈	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5*	根本 有彩	13	0	0	5	11	3	6	2	6	3	9	0	2	0	1
6*	藤岡 恵美衣	13	0	0	5	9	3	4	4	2	1	3	2	1	2	1
7*	藍野 英季子	5	1	2	1	1	0	0	0	4	0	4	1	1	0	2
8*	石田 麻衣子	4	0	0	2	3	0	0	0	1	1	2	2	1	0	0
9	川崎 桃子	2	0	3	1	6	0	0	0	3	0	3	2	2	0	2
10	久保田 優菜	6	1	3	1	2	1	2	0	0	1	1	0	2	0	3
11	津田 美季	7	1	1	2	4	0	1	2	0	2	2	0	0	0	0
12	瀬川 結衣	0	0	0	0	2	0	0	5	1	0	1	0	0	0	0
13	三橋 千尋	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
14	星 晴香	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
15*	望月 桜子	17	3	7	4	7	0	0	2	6	2	8	0	1	0	3
16	平田 えりか	8	0	0	2	3	4	4	1	1	2	3	1	1	0	1
17	馬籠 あずさ	0	0	0	0	1	0	2	0	2	1	3	0	0	0	0
18	川名 澗															
チーム										0	1	1				2
77			6	17	23	51	13	21	17	26	15	41	8	11	2	16

*:スターティングメンバー

確率 35.3% 45.1% 61.9%

文化女子大学附属杉並(東京) コーチ 小田 美鈴

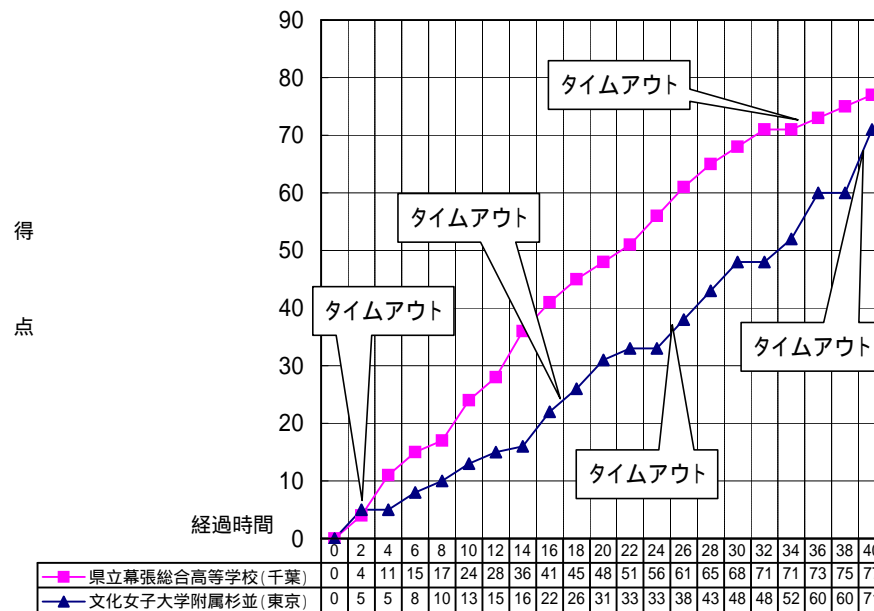
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	岩崎 留奈	2	0	1	1	1	0	0	4	2	0	2	5	2	0	4
5*	柿崎 美帆	20	3	3	3	7	5	6	5	4	0	4	1	1	0	6
6*	嶺野 恵子	6	0	0	3	8	0	2	2	6	1	7	2	0	1	1
7*	橋本 美香	16	1	5	6	17	1	2	3	7	2	9	3	3	0	3
8*	竹野 絵里佳	3	0	1	1	4	1	2	3	3	3	6	2	0	0	5
9	高岡 瞳	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
10	山口 沙千															
11	山崎 有美															
12	赤石澤 真帆	14	4	7	1	1	0	0	3	2	0	2	1	1	2	2
13	田村 友絵															
14	羽山 美聡	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
15	積田 瞳															
16	堀川 なつみ															
17	西海 友美	10	0	0	5	7	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0
18	庄子 佳子															
チーム										3	0	3				
71			8	17	20	45	7	13	23	27	7	34	15	8	3	21

*:スターティングメンバー

確率 47.1% 44.4% 53.8%

2分毎による得点の推移

■ 県立幕張総合高等学校(千葉) ▲ 文化女子大学附属杉並(東京)



戦評

両チームオールコートマンツーマンでスタート。両チーム緊張もあってか、なかなかシュートが決まらず五分の立ち上がりであった。幕張総合は、ゴール下のシュートが入らないながらも、しっかりしたディフェンスから、次第にペースをつかみだし、ブレイクや、ポストを基点とした攻撃で得点を重ねる。対する文大杉並は、オフェンスに苦しみながらも、柿崎の3Pシュートで対抗するが、点差は広がる。また、ディフェンスを2-3のゾーンに変化し、流れを取り戻そうとするが、点差は縮まらない。4Qに入り、文大杉並はオールコートゾーンプレスで追いつくが、幕張総合は、リバウンドも支配し、落ち着いた試合運びで勝利した。

主審 川満 (茨城)

副審 分部 (山梨)

記入者 金子 (高体連)